

共同運営部門：内視鏡センター

＜スタッフ紹介＞

役 職	スタッフ名
消化器内科部長(胆膵) 兼内視鏡センター長	幡丸 景一

＜特色と概要＞

内視鏡センターでは、検査室4部屋(1部屋は放射線透視室)を使用し、消化器科領域(上部・下部消化管、肝胆膵)の各専門医が協力して内視鏡診療を行っている。

消化管領域について、拡大内視鏡を用いた精密な内視鏡診断や、消化管出血に対する緊急内視鏡的止血術、消化管腫瘍に対する内視鏡的粘膜切除術(EMR)、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)等を施行している。便潜血陽性者には、積極的に大腸内視鏡検査を行っている。

胆膵領域では、胆道がん・胆道結石・閉塞性黄疸・膵腫瘍などに内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)及び関連手技、超音波内視鏡下穿刺吸引生検(EUS-FNA/B)などの内視鏡治療を行っている。

また超音波内視鏡(EUS)による膵臓がんや胆道がんの早期発見は積極的に施行しており、ERCP困難な悪性胆道閉塞に対するEUSガイド下胆道ドレナージ(EUS-BD)などの内視鏡治療も行っている。

内視鏡検査における感染症対策として、日本消化器内視鏡学会のガイドラインに準拠した安全対策をセンター内の医師・看護師らメディカルスタッフで共有し、標準予防措置策を徹底した検査・治療を心がけている。

【上部消化管領域】

内視鏡診断・治療、胃がん・食道がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)など

【下部消化管領域】

大腸ポリープに対するEMR、大腸がんに対するESDなど
炎症性腸疾患の内視鏡診断

【胆・膵臓領域】

膵・胆道がんに対する超音波内視鏡診断(EUS)、超音波内視鏡下穿刺生検(EUS-FNA/B)、超音波内視鏡下瘻孔形成術などのインターベンション治療、総胆管結石に対する内視鏡治療など

＜実績＞

内視鏡件数

(件)

	件数
上部消化管内視鏡検査	4,191
上部ESD	86
消化管ステント留置	24
大腸内視鏡検査 (うち大腸ポリペクトミー/EMR)	2,169 (1,010)
大腸ESD	57
消化管止血術	161
ERCP	297
胆膵EUS	758
EUS-FNA/B	53
EUS下瘻孔形成術	9



(ERCP 実施中の写真)



(内視鏡検査室)



(リカバリーチェア)